



平成 22 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
 (コード番号8889 大証ヘラクレス)
 代 表 者 代表取締役社長 大村 浩次
 本 社 所 在 地 東京都中央区京橋一丁目1番5号
 問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩
 T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

特別利益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 9 月期において、下記のとおり特別利益が発生する見込みであるため、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 11 月 13 日付「平成 21 年 9 月期決算短信」において公表いたしました平成 22 年 9 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生とその内容について

当社は、平成 21 年 12 月 28 日付「棚卸資産(販売用不動産・信託受益権)から固定資産への所有目的の変更に関するお知らせ」にて公表のとおり、第 11 期連結会計年度の初日(平成 21 年 10 月 1 日)より、当社および当社子会社が保有する不動産に関して、昨今の経済環境や不動産市況の低迷等を総合的に鑑み、賃貸不動産の賃料収入の増加等による収益の安定化を図るため、総額 30,376 百万円の販売用不動産・信託受益権について、棚卸資産(販売用不動産・信託受益権)から固定資産への所有目的の変更を行っております。

上記の所有目的の変更を踏まえ、賃貸不動産の安定化を図る施策を実行している上で物件の一部について「のれん及び負ののれん償却」に関する会計処理の検討を行った結果、当該「負ののれん」5,242 百万円を一括償却するとともに、および「繰延税金負債」3,597 百万円を取崩すことが妥当であると判断し、平成 22 年 9 月期において 5,242 百万円を特別利益に、3,597 百万円を法人税等調整額として計上する見込みであります。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(金額の単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------------|--------|-------|------|---------|--------------|
| 前回発表予想(A) | 51,000 | 1,100 | 450 | 200 | 157 円 34 銭 |
| 今回修正予想(B) | 50,000 | 1,400 | 450 | 7,000 | 5,509 円 23 銭 |
| 増減額 (B-A) | △1,000 | 300 | — | 6,800 | — |
| 増減率 (%) | △2.0 | 27.3 | — | 3,400.0 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成 21 年 9 月期通期) | 52,520 | 220 | 303 | 1,036 | 1,066 円 18 銭 |

(2) 修正の理由

売上高につきましては、棚卸資産から固定資産への所有目的変更に伴う不動産売却収入の減少等の要因があるものの、概ね順調に推移しており、前回発表予想から 1,000 百万円減の 50,000 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、平成 22 年 5 月 6 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおり、幹旋事業、プロパティ・マネジメント事業の主要セグメントの収益改善により、第 2 四半期連結累計期間における営業利益が、平成 21 年 11 月 13 日付「平成 21 年 9 月期決算短信」において公表の平成 22 年 9 月期通期の業績予想 450 百万円に対して 361 百万円増の 811 百万円となっておりますが、4 月および 5 月も概ね期初計画通りに推移するなど、第 3 四半期以降もコア事業である幹旋事業、プロパティ・マネジメント事業への経営資源の集中と効率化の諸施策の継続により堅調に推移するものと判断しており、前回発表予想から 300 百万円増の 1,400 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、平成 21 年 11 月実施の第三者割当増資の実施などの資本政策に伴う株式交付費

の発生等があるものの、営業利益の増加等の要因により、前回発表予想と同額の 450 百万円となる見込みです。

当期純利益につきましては、1. 記載の「負ののれん」の一括償却および「繰延税金負債」の取崩による 8,839 百万円の計上があるものの、第2四半期連結累計期間に計上している特別損失 656 百万、並びに幹旋事業、プロパティ・マネジメント事業を行う子会社2社の事業が順調に推移していることによる繰延税金資産の取崩や、平成 22 年5月 10 日付「連結孫会社(SPC)の異動に関するお知らせ」にて公表した、連結対象外となる予定で合同会社ASNファーストに対する貸付金に関しての引当処理を保守的に見積もった事等の要因により、第3四半期以降に計上する特別損失等を約 1,180 百万円見込んだことから、前回発表予想から 6,800 百万円増の 7,000 百万円となる見込みです。

なお、本件業績予想を前提とした、平成 22 年9月期連結会計年度末の連結純資産は約 141 億円(第2四半期連結会計期間末 71 億円)、自己資本比率は約 15.1%(第2四半期連結会計期間末 5.5%)となる見込みであります。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により、上記に記載した予想数値と大きく異なる可能性がある点にご留意下さい。

以 上